

# 土木学会選奨 土木遺産登録記念展



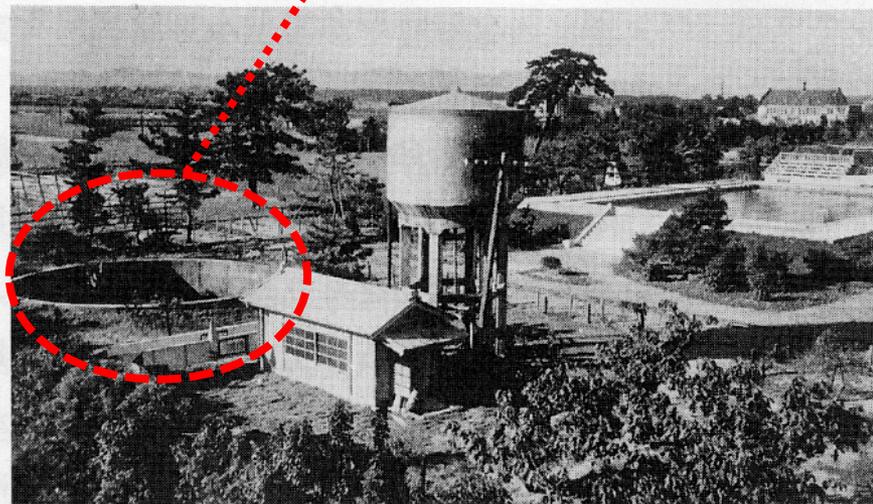
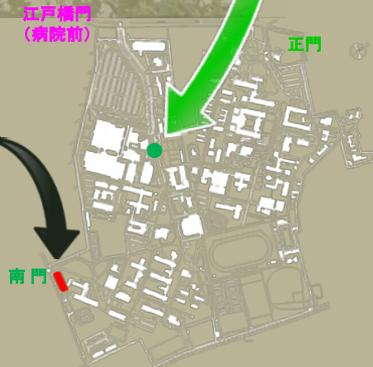
## 不渴の井戸

(三重高等農林学校農場の給水井戸)

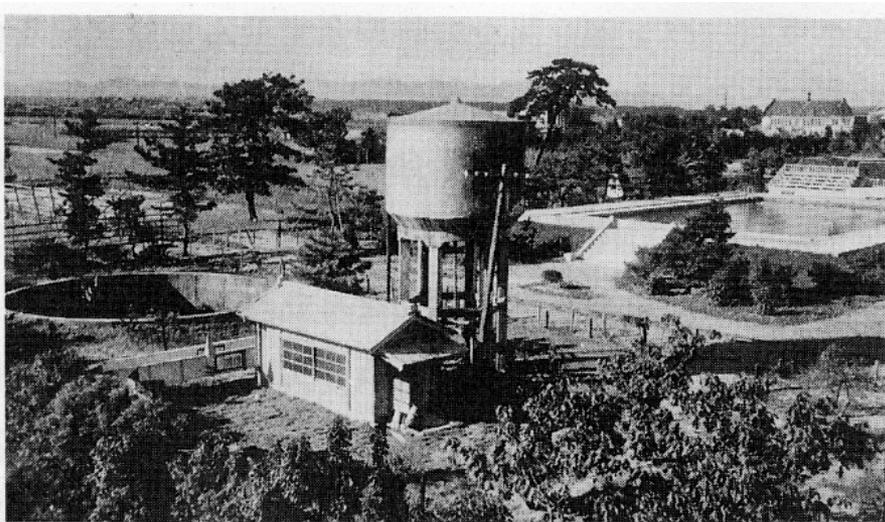
この井戸は、三重大学の前身の一つである三重高等農林学校が現在地に設置された際に低湿地、塩害地であった土地を改良するために教官と学生が協力して大正13年に築いたものであり、現在も実験圃場への灌漑設備として活用されている

開催場所  
レーモンドホール

開催期間  
6月1日(木)  
6月30日(金)



高農農場の貯水池とタンク(大正13年当時)



当時（大正13年）



現在



1922（大正11）年4月、三重高等農林学校は第1回の入学生を迎えるのであるが、その時点で実験農場の整備は未だ完成していなかった。

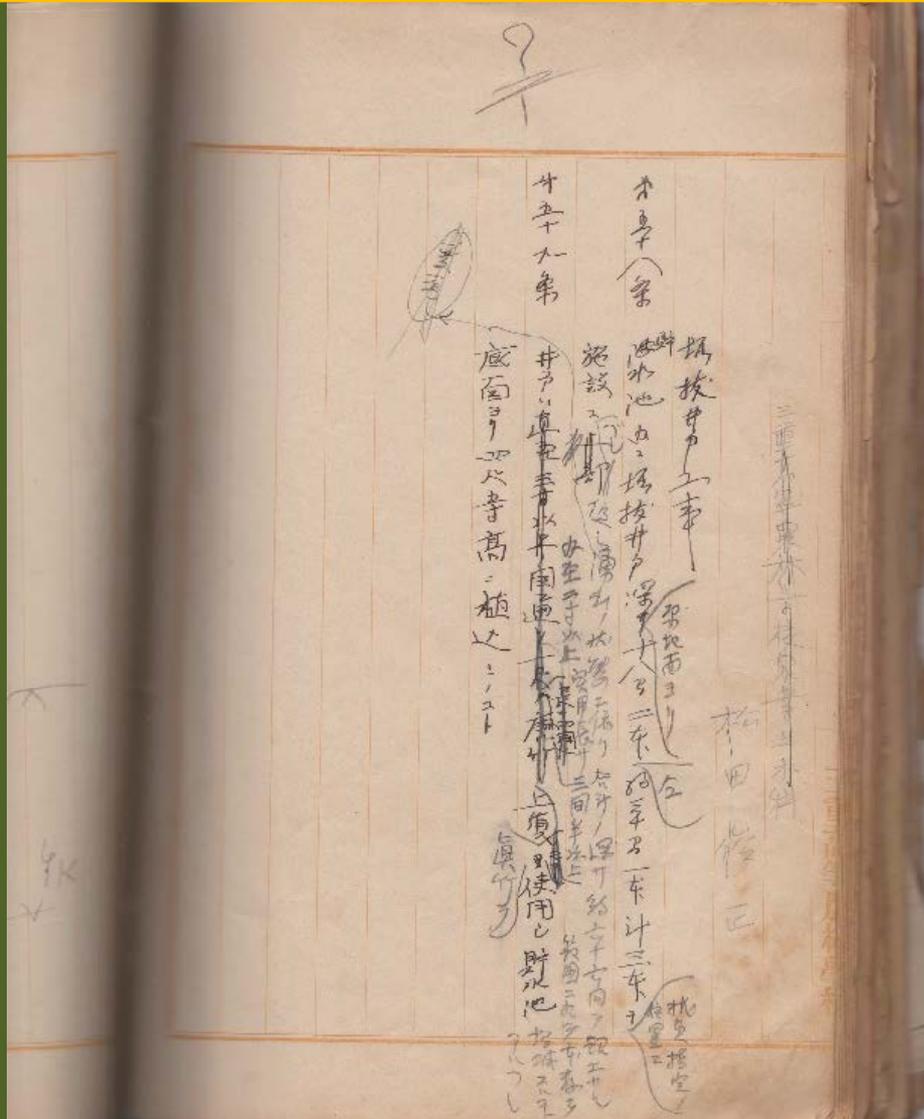
志登茂川左岸のこの地帯は、低湿地で排水の設備も全くなく、加えて塩害が甚しくて、実験実習農場としての実質も形態も全然備えていなかった。このような現状を見兼ねて一部には、この際むしろ他の適地を探して移転した方が良いとの声も出たが、上原校長は断乎反対して、如何に土地が劣悪であろうとも、農業工学の全能を傾けてこれを改良すべきであるとして、移転論を一蹴し、敢然これが改良の方策を講ずることを決意表明された。同年5月に行われた初耕式に於いて、校長は「農場の土地改良は本校にとって緊急の最大重要事項である。教官、学生相互に協力して、この難事業を成し遂げるべきである」と訓辞を述べられている。

名誉教授 山家光治

三重大学50年史「ニュースレター」No. 8（1997） 一部抜粋

<http://www.bio.mie-u.ac.jp/kankyochiiki/noudo/history2.html>

# 当時の設計書の一部



土木学会選奨土木遺産

# 認定書

三重高等農林學校

農場の給水井戸

右は三重大学農学部の前身である  
三重高等農林學校の設立後に農場の  
土地改良のために教官と学生が協力して  
整備した灌漑施設であります

本学会ではその歴史的土木施設としての  
高い価値に照らしてここに平成二十八年  
度土木学会選奨土木遺産と認定致します

平成二十八年十一月十八日

公益社団法人土木学会

会長

田



治



# 碑文

三重高等農林學校農場の給水井戸  
竣工 大正十三年

三重大学前身の一つ、  
三重高等農林學校の設立後に、  
農場の土地改良のために当時の  
教官と学生が協力して整備した  
灌漑施設です  
歴史的土木施設としての価値が高く、  
平成二十八年度選奨土木遺産に  
認定されました

土木學會選奨土木遺産



2016

三重高等農林學校農場の給水井戸



「三重高等農林学校農場の給水井戸」  
竣工 大正十二年

三重大学前身の一つ、  
三重高等農林学校の設立後に、  
農場の土地改良のために当時の  
教官と学生が協力して整備した  
灌漑施設です。  
歴史的土木施設としての価値が高く、  
平成二十八年度選定土木遺産に  
認定されました。





↑ 「江戸橋」 明治23年頃(?)

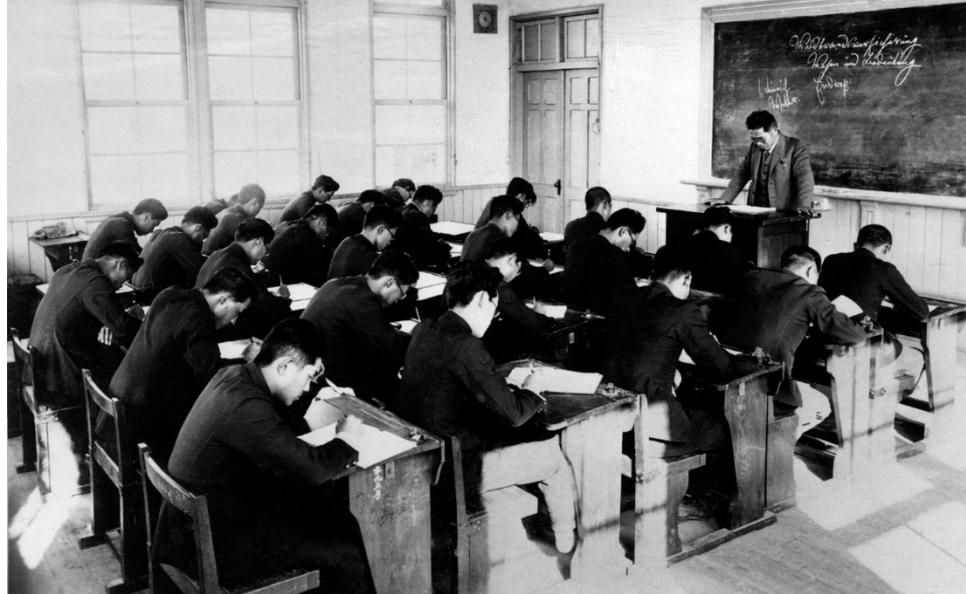


↑ 昭和18~19年





↑ 昭和18年頃



↑ 昭和30年頃



↑ 昭和18~19年



↑ 昭和18~19年